



<http://www.midai.m-alps.ed.jp/> 白根御勅使中学校ホームページにも毎月掲載します。

中巨摩英語暗唱大会が行われました

10月16日に中巨摩教育会館で、中学2年生と3年生による中巨摩英語暗唱大会が開催されました。今年度は、白根御勅使中学校からは、近藤さん、橋爪さんが出場しました。3年生は、「A Passage to Freedom～The Sugihara Story～」というタイトルの英単語334語の英文を暗唱し、発表を行いました。内容は、ナチス軍から逃れるためにユダヤ人にビザを発給して命を救った外交官の杉原千畝氏の話ですが、緊張感の中、とても堂々と感情を込めて発表できました。また、2年生は、「The First American Football in Japan～The Paul Rusch Story～」というタイトルの英単語277語の英文を暗唱し、発表を行いました。内容は、日本とアメリカの親睦のためにアメリカン・フットボールを日本に広めた清里の父として知られるポール・ラッシュ氏の話ですが、初めての出場でもとても緊張したと思いますが、堂々と感情を込めて発表できました。とても緊張したと思いますが、二人ともきれいな発音で、強弱や抑揚の変化をつけながら自信を持って伝えられた素晴らしい発表となり、めったにすることができない貴重な体験をしたと思います。この英語暗唱大会への取組は猛暑の夏休みから始まっていたので、大変な苦労があったと思います。二人とも本当によく頑張りました。その努力が認められ、2名とも11月18日に山梨市で行われる県中学校英語暗唱大会に中巨摩地区の代表として出場します。きっとさらに素晴らしい発表が見られることと思います。期待しています。



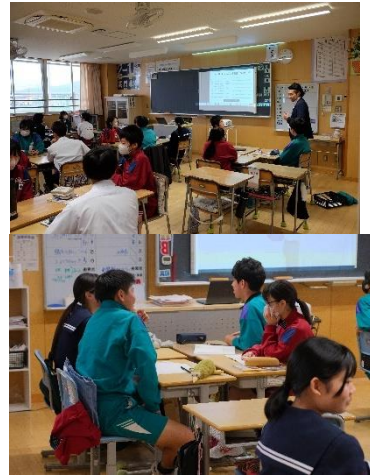
小中合同あいさつ運動が行われました

10月15日に御勅使中学校区の小中一貫の取組であるあいさつ運動が行われました。御勅使中学校の生徒たちはそれぞれの出身小学校である百田小と源小を今学期は2年生が訪問し、後輩であるそれぞれの母校の児童たちとあいさつ運動を行い、交流を深めました。今年度、2回目のあいさつ運動ですが、中学校では生徒会本部と学年生徒会の生徒が代表で訪問し、小学校では児童会役員が代表として、それぞれの小学校の児童玄関に立って、登校する児童たちとあいさつを交わしました。当日の朝早くから母校に集合して、みんな元気よくあいさつをしていました。小学生にとって中学校がより身近に感じてもらえることを期待しています。2年生の皆さん、お疲れさまでした。



全校で行う縦割り道徳授業

白根御勅使中学校では、学年間の横のつながりと学年を越えた縦のつながりの両方をとても大切にしています。これまでも桃源祭をはじめとする様々な取組を学年を越えた縦割り活動を取り入れながら行ってきました。今回は全校の全学年を均等に分け、それぞれのクラスに1～3年生の生徒を同じ割合で分けてクラスを作り、8人の1～3年生の学級担任の先生がそれぞれの教室で授業をしました。教室では、異学年の生徒同士で小グループを作り、話し合い、互いに意見交換をしながら話し合った内容を代表者が全体の前で発表していました。今回授業で使用したのは「自分のSNSなら何をかいてもいい」という教材で、他人の失敗をSNSに投稿すれば、自分だとわからないし、失敗をせめることができるという人間の弱さやSNSの恐ろしさを学んだと思います。そして、学年の枠組みを越えて、互いに意見や感じたこと・思ったことを伝え合ったことで、普段とは違う体験ができたと思います。これからも御勅使中生としてのつながりを同学年はもちろん学年を越えてお互いに大切にしていってください。



河面さんが日本代表に選ばれました

うれしいニュースが入ってきました。河面さんがU-15の日本代表に選ばれました。来週には、海外遠征に出かけます。日の丸を背負うという、大変名誉な役割に選ばれたことを誇りに思います。私たちに感動と勇気を与えてくれて、本当にありがとう！